



5市2町
都市部への魅力の発信や移住定住の促進
府北部が協力して地方創生

府北部5市2町で活躍する生産者と、販路先である事業者のマッチングイベント「フードコラボラボ」を1月24日(水)にImpact Hub Kyoto(京都市)で行います。舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町で構成される京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会が主催で、販路拡大や新商品の開発、参加者同士のビジネスネットワークの構築を目指します。



教育
盲目のシンガーソングライター
地元中学校で音楽交流

子ども達の夢を育み、その夢の実現を支え社会に貢献できる人材の育成を目的とする市の「夢チャレンジサポート事業」の一環として、「目を閉じてはじめてわかる優しさがある」を

テーマに、城南中出身で盲目のシンガーソングライター、福本淳さんのコンサートを12月1日に同校で開催。

福本さんは生まれつき視力が弱く、同校を卒業後は盲学校へ進学。現在は演奏を通じて、元気に仕事や生活をする生き方を学び障害者に対する理解を深める活動を行っています。

この日は「名探偵コナン・メインテーマ」で同校の吹奏楽部とコラボレーションするなど演奏を通して生徒約500人と交流をしました。

同協議会は、合同就職説明会や府北部の暮らしや空き家の紹介による移住の促進などの取り組みの告知や結果をホームページで紹介しています。左のコードからアクセス可。
 ▼詳しくは、企画政策課(☎66・1042)へ。



防災
安定ヨウ素剤
社会福祉施設に配布

市では12月20日～27日に市内の社会福祉施設(入所施設)25か所に安定ヨウ素剤を配布しました。原子力災害時に内部被ばくを防止、施設入所者や職員が円滑に避難できるよう、各施設で安定ヨウ素剤を備蓄するものです。
 ▼詳しくは、地域医療課(☎66・1051)へ。



「恋に落ちてみちゃったら?」主人公がひと目惚れしたヒロインに舞鶴を気に入ってもらおうべくあの手この手の魅力を紹介するが…?



▲MAIZURU Style vol.1



▲恋に落ちてみちゃったら?



「MAIZURU Style vol.1」住んでいけば見慣れた光景でも、都会の人には驚きの光景。そんな舞鶴の知られざる魅力を全国へPR。



「MAIZURU Style vol.1」住んでいけば見慣れた光景でも、都会の人には驚きの光景。そんな舞鶴の知られざる魅力を全国へPR。

移住定住
移住定住促進PR動画
市の魅力を動画で紹介

移住定住促進に取り組むため関係課で構成する「移住定住プロジェクトチーム」の若手市職員が制作した市公式PR動画2本が12月15日に公開されました。企画・撮影・編集まで全て若手職員で行い、「住んでみたい」引越した

い」と思ってもらえる豊かな自然環境や衣食住の魅力にスポットを当てた内容となっています。動画は動画投稿サイト「YouTube」で公開。市ホームページなどでも見ることが出来ます。
 《広報広聴課》



計画
総合計画審議会を開催
次の時代のまちづくりに向けて

次期総合計画(2019)について審議する「舞鶴市総合計画審議会」の第1回会議を11月27日に赤れんが2号棟で開催しました。

委員は学識経験者や市内の各種団体などから計20人で構成。会議では、委員長に齋藤福栄、舞鶴高専校長、副委員長に小西剛、舞鶴商工会議所会頭を選任。その後、多々見市長が次期総合計画の基本構想の策定について諮問するとともに、次期総合計画の策定方針について説明を行いました。

同審議会は今後数回の審議を経て来年春ごろを目途に市長へ答申する予定。また、1月下旬に第2回会議を開催予定です。

委員の皆さんは次のとおり。

◆会長 齋藤福栄(舞鶴高専校長)
 ◆副会長 小西剛(舞鶴商工会議所会頭)
 ◆委員
 ◆竹内榮一 ◆齋藤友幸
 ◆倉橋 貢 ◆江守錬太郎
 ◆上野和美 ◆谷口英子
 ◆荻野隆三 ◆上野由香子
 ◆周川靖子 ◆村尾郁子
 ◆川上精一 ◆田中美香子
 ◆尾上亮介 ◆梅田幹夫
 ◆坂根美帆 ◆寒竹聖一
 ◆深瀬康高 ◆時岡浩二
 (以上敬称略)

▼詳しくは、企画政策課(☎66・1042)へ。

舞鶴市都市計画マスタープラン まちづくりの方針

◆舞鶴版コンパクトシティ+ネットワーク
 ◆JR東・西舞鶴駅を中心に、住宅や店舗・施設などが集約された「まちなか賑わいゾーン」を形成。東西の駅を結ぶ公共交通を充実させることで歩いて暮らせる居住環境の整備を進めます。
 ◆その周辺にはマイカー移動のできる世帯が自然豊かな環境で生活・子育てできる「ゆとり環境ゾーン」を形成。
 ◆さらに周りの地域は「自然環境と暮らしの調和ゾーン」とし、地域コミュニティとまちなかを利便性の高い交通ネットワークでつなぎます。

まちづくりの方針
 総合的な取り組みの方向性

舞鶴版コンパクトシティ+ネットワークの実現にかかる重要施策を表す 3C+ ネットワークを付加します。

～3C+～
 Control: 元気なまちへ導く
 Connect: 次世代に繋ぐ
 Change: 時代に合わせて変化する
 +network: 人・地域のつながり

◆地域のまちづくり方針
 ◆東西地域…「まちなか」の活力とにぎわいの創出を目標に、西舞鶴駅周辺を「賑わいあふれる、新たなライフスタイルの発信拠点」に、東舞鶴駅周辺を「集い、学び、地域の力を引き出す拠点」として立地適正化計画により施策を展開。
 ◆加佐地域…「由良川流域の自然豊かな地域資源を生かしたふるさとづくり」を目指す。
 ◆大浦地域…「大浦半島の美しい自然と地域産業を生かしたふるさとづくり」を目指す。

◆まちづくりの実現に向けて
 舞鶴のまちづくりをこれからの世代に継承していくため、市民、事業者、行政が連携協力して、まちづくりを進めていくことが必要。また、次世代を担う子どもたちが地域への愛着を持ち、まちづくりに参加できる環境づくりに取り組む。

意見募集
都市計画マスタープラン(案)
パブリック・コメント手続制度で意見を募集

市では、今日とはより次の世代が心豊かに暮らせるまちの実現に向け、舞鶴版コンパクトシティ+ネットワークを推進しています。このたび、将来都市像の方向性を示す舞鶴市都市計画マスタープラン(案)がまとまりましたので、市パブリック・コメント手続制度に基づき、市民の皆さんから意見を募集します。

◆提出方法
 様式は自由。住所、氏名、電話番号を記入し、「舞鶴市都市計画マスタープラン(案)に対する意見」と明記し、郵送か持参、ファクス、電子メール、お問い合わせフォームで都市計画課へ。匿名、電話口頭による意見は受け付けません。

◆募集期間
 1月4日(木)～2月4日(日)

◆(案)の公表場所
 都市計画課、市政情報コーナー、西支所、加佐分室、中央・東・西・南公民館、大浦・城南会館、東・西図書館。市ホームページにも掲載。

◆提出された意見の取り扱い
 提出された意見などを考慮して最終案を作成。また、意見の概要と意見に対する市の考え方を整理し公表します(氏名などは公表しません)。

▼詳しくは、都市計画課(☎66・1048、FAX 62・9894)へ。

日付	時間	場所
1月13日(出)	10時30分～11時30分	西駅交流センター
1月15日(月)	19時～20時	商工観光センター
1月17日(水)	19時～20時	中総合会館
1月19日(金)	19時～20時	西駅交流センター
1月20日(出)	10時30分～11時30分	商工観光センター
1月23日(火)	19時～20時	加佐公民館
1月25日(休)	19時～20時	大浦会館

◆説明会を開催
 意見募集にあわせ、同案への理解を深めるための説明会を開催。内容は全回同じです。申し込み不要。